

国語科	伝えたいことをはっきりさせて書こう ～「新聞記者になろう」～	
4 学年	実施の時期 実践者	平成15年6月 鳴瀬町立小野小学校 田口 直彦

◎実践の概要

[単元の流れ]

- | | |
|--|--|
| <p>1 新聞について調べ、内容や書き方の工夫を考える。</p> <p>2 本で調べたことや見学でメモしてきたことを整理し、どんな記事をのせるか考える。
(社会科の学習との関連)</p> <p>3 社会科「水はどこから」の学習のまとめの新聞を書く。</p> <p>4 できあがった新聞を読み合い、学習のまとめをする。</p> | <p>→①NIEの部屋の新聞を利用して、どんな内容の記事があるか調べさせる。</p> <p>②興味を持った記事をスクラップにし、新聞の構成や書き方について話し合わせる。</p> <p>③いろいろな見出しを集め、見出しの役割や工夫について考えさせる。</p> <p>→○新聞を提示し、割付の位置や見出しの大きさなどの参考にさせる。</p> |
|--|--|

新聞 ここで使いました。

◎実践を振り返って

- ・スクラップの活動では、野球、サッカーなどのスポーツ記事、クイズや四コママンガなど、興味のある記事を楽しんで集めていた。見出しも大きいものから小さいのまでたくさん集めたことで、見出しの工夫や大切さに気付くことができ、新聞を書く際の参考にできていた。
- ・前回作成した新聞(社会科「ごみのしまつと利用」のまとめ)よりも内容がシンプルに分かりやすく書けていた児童が多かった。今後も社会科の学習などで、新聞にまとめる活動に取り組ませながら、わかりやすく表現する力、情報をまとめる力をつけていきたい。